

6. 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構は、国の学生支援事業を総合的に実施する独立行政法人です。機構の事業の一環として奨学金貸与事業があり、経済的理由により修学に困難がある優れた学生に対し、学資の貸与などを行うことにより、国家及び社会に有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的としています。

この奨学金は、日本学生支援機構から貸与される奨学金で、第一種（無利子）・第二種（有利子）の2種類があります。採用されると、卒業（修了）・退学まで毎月貸与され、卒業（修了）・退学後に所定の方法で返還することが必要です。

(1) 奨学金の概要

《学部・助産学専攻科》

	第一種奨学金		第二種奨学金
利子	無利子		年利 3%を上限とする利子付 * 「利率見直し方式」又は「利率固定方式」を選択 * 2018年12月現在の貸与利率 - 利率固定方式：0.27% - 利率見直し方式：0.01%
貸与月額	自宅通学：20,000円～54,000円から選択 自宅外通学：20,000円～64,000円から選択 ※入学年度により異なる		20,000円から120,000円までの 1万円単位から選択
成績基準	1年次	高校成績 評定平均 3.5以上 ※助産学専攻科生は学部成績上位 1/3以上	平均水準以上
	2年次以上	前年度までの成績 上位 1/3以上	
家計基準 (※1)	給与所得(※2)	747万円 ※入学年度により異なる	1143万円
	給与所得以外(※3)	349万円 ※入学年度により異なる	735万円
(※1) 家計基準は、家族の状況により異なります。(上記は4人家族・自宅通学の場合の上限目安) また、併用貸与の場合、家計基準は「給与所得747万円、給与所得以外349万円」となります。 (※2) 源泉徴収票の支払金額等で、給与所得控除前の収入金額 (※3) 確定申告書等の売上(収入)金額から経費を差し引いた税込営業利益等の所得金額			
保証制度	<ul style="list-style-type: none"> ・人的保証：連帯保証人と保証人を選任します。連帯保証人は原則として父又は母、保証人は、父母を除く4親等内の成年親族のうち、本人及び連帯保証人とは別生計かつ採用時に65歳未満の者です。(おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等) 返還誓約書提出時に、連帯保証人の印鑑証明書及び収入証明書と保証人の印鑑証明書が必要です。 ・機関保証：保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証します。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれます。 		
募集時期	<ul style="list-style-type: none"> *定期募集：毎年4月(Loyola 掲示板で願書配布及び出願期間を確認すること。) *予約採用：在学している(在学していた)高校、専修学校(高等課程)で募集を行います。詳細は在学している(在学していた)学校で確認してください。 *緊急・応急採用：主たる家計支持者の失職・死亡、災害等によって家計が急変した場合。(学生センター経済支援担当まで申し出てください。) *臨時採用(不定期)：募集がある場合、Loyola 掲示板でお知らせします。 		
貸与開始月	2019年4月～		2019年4月～9月で希望する月
初回振込	《予約採用》4～6月 《定期採用》7月11日(予定)		
採用実績 (2018年)	164名		232名
	*併用貸与と採用者を含む		

※上記は2018年12月時点の内容です。今後、制度内容が変更となる可能性があります。

《大学院》

	第一種奨学金		第二種奨学金
利子	無利子		年利 3% を上限とする利子付 * 「利率見直し方式」又は「利率固定方式」を選択 * 2018 年 12 月現在の貸与利率 - 利率固定方式：0.27% - 利率見直し方式：0.01%
貸与月額	博士前期	50,000 円、88,000 円 から 選択	50,000 円、80,000 円、100,000 円、 130,000 円、150,000 円から選択
	博士後期	80,000 円、122,000 円 から 選択	
	法科大学院	50,000 円、88,000 円 から 選択	50,000 円、80,000 円、100,000 円、 130,000 円、150,000 円、190,000 円 220,000 円から選択
採用基準	<p><u>出願者本人の総収入</u>と学業成績を基準として、総合的に判断しています。</p> <p>採用者数は年度によって異なります。</p> <p>* <u>出願者本人の総収入</u>は、定職収入、アルバイト収入、父母等からの給付、奨学金、その他収入を合計したものです。配偶者がいる場合は、配偶者の定職収入もこれに含めます。</p>		
保証制度	<p>・人的保証：連帯保証人と保証人を選任します。連帯保証人は原則として父又は母、保証人は、父母を除く 4 親等内の成年親族のうち、本人及び連帯保証人とは別生計かつ採用時に 65 歳未満の者です。（おじ・おば・兄弟姉妹・いとこ等） 返還誓約書提出時に、連帯保証人の印鑑証明書及び収入証明書と保証人の印鑑証明書が必要です。</p> <p>・機関保証：保証料を支払うことにより、保証機関が連帯保証します。保証料は、毎月の奨学金貸与額から差し引かれます。</p>		
募集時期	<p>* 定期募集：毎年 4 月（Loyola 掲示板で願書配布及び出願期間を確認すること。）</p> <p>* 予約採用：入学前年の 10 月</p> <p>* 緊急・応急採用：主たる家計支持者の失職・死亡、災害等によって家計が急変した場合。（学生センター経済支援担当まで申し出てください。）</p> <p>* 臨時採用（不定期）：募集がある場合、Loyola 掲示板でお知らせします。</p>		
貸与開始月	2019 年 4 月～		2019 年 4 月～ 9 月で希望する月
初回振込	《予約採用》4 月～ 6 月 《定期採用》6 月 11 日（予定）		
採用実績《2018 年》*第一種と第二種の併用者を含む			
博士前期	58 名		15 名
博士後期	6 名		0 名
法科大学院	7 名		2 名

(2) 留学期間中の奨学金貸与について

留学奨学金継続

原則として留学期間中は貸与が一旦休止となりますが、本人が願い出て、日本学生支援機構が認めた場合に、留学中の奨学金貸与を認められることがあります。希望する場合は、事前に学生センター窓口(経済支援担当)に相談してください。

第二種奨学金(短期留学)

【現在奨学金の貸与を受けている学生】

留学中に一時金として留学時特別増額貸与奨学金(10万、20万、30万、40万、50万のうち、いずれかを選択)を希望する場合、「第二種奨学金(短期留学)」に申込の上採用される必要があります。

【現在奨学金の貸与を受けていない学生】

3ヶ月以上1年以内で留学中のみ貸与できる「第二種奨学金(短期留学)」があります。申込時期は留学開始月によって異なりますので、Loyola 掲示板を確認してください。

〈参考〉2019年度募集スケジュール(予定)

	留学開始時期	Loyola 掲示	出願期間	採用候補者の決定
1回目	2019年4月～7月	2018年12月中旬	2019年1月上旬	2019年2月下旬頃
2回目	2019年8月～11月	2019年3月中旬	2019年4月下旬	2019年6月下旬頃
3回目	2019年12月～2020年3月	2019年6月中旬	2019年8月中旬	2019年10月下旬頃

(3) 採用後の手続き

日本学生支援機構奨学金奨学生に採用されると、緊急採用・応急採用を除き、採用された時点から卒業(修了)・退学するまで奨学金が貸与されますが、その間に下表の手続きが必要となります。

時期	手続	内容
採用時	採用手続	① 採用者ガイダンスに出席し、奨学生証等の受領 ② 返還誓約書を作成・提出の義務があります。(採用直後) : 連帯保証人・保証人の自署・捺印及び所得証明書等の提出 * 所得証明書等の書類は、出願時提出した書類とは別のものが必要です。
各年度 秋学期	継続手続	奨学生が継続願の提出(インターネット送信)を行います。 未提出者は、次年度奨学金の貸与継続ができません。
各年度末	適格認定	奨学生としての適格性を有するか大学が審査します。 成績不良者は、次年度貸与が停止(廃止)されます。
貸与終了年度秋学期	返還手続	① 返還説明会に出席 : 最高年次の奨学生は参加必須です。 ② リレー口座の加入 ③ 貸与終了の7ヵ月後から返還開始(口座振替)

※手続の時期や方法は変更される場合があります。掲示板を必ず確認してください。

※留学・休学・退学する場合や貸与月額等を変更する場合は、別途手続が必要です。

(4) 返還について

日本学生支援機構奨学金は貸与の奨学金であるため、卒業（修了）・退学後返還する必要があります。貸与終了年度の秋学期には「返還説明会」を行います。貸与終了の7ヵ月後から奨学金の返還が始まります。

【2018年度 第一種奨学金（人的保証）に採用された1年次生の貸与総額・返還計画】

	貸与月額 (円)	貸与期間 (ヵ月)	貸与総額 (円)	返還月額 〈例〉(円)	返還回数 〈例〉(回・年)
学部（自宅外の場合）	64,000	48	3,072,000	14,222	216回・18年
大学院博士前期課程 法科大学院（2年制）	88,000	24	2,112,000	12,571	168回・14年
大学院博士後期課程	122,000	36	4,392,000	18,300	240回・20年

* 日本学生支援機構のホームページには、その他の貸与月額や有利子の第二種奨学金を借用した場合の例も掲載されています。また、奨学金貸与・返還シミュレーションページ（日本学生支援機構）で、奨学金の貸与額別返還額や回数等の試算ができます。

- 日本学生支援機構ホームページ：<http://www.jasso.go.jp/>

- 奨学金貸与・返還シミュレーション：<http://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

(5) 業績優秀者返還免除制度について

第一種（無利子）奨学金に採用となった大学院生で、貸与中に特に優れた業績を挙げた者は、「業績優秀者返還免除制度」に出願することができます。出願時期等詳細については、貸与終了年度の12月頃にLoyola掲示板でお知らせします。